

CS こひつじ科礼拝式次第

2022年5月15日 午前9時30分

2022年度年間テーマ：「イエス様の祈り『主の祈り』によって、祈ることを身につけよう」

テーマ曲：ワワワいっしょに（92番）

暗唱聖句：「罪の支払う報酬は死です。しかし、神の賜物は、わたしたちの主イエス・キリストによる永遠の命なのです。」
ローマの信徒への手紙 6章23節

61, 聖書名目ずくし（こどもさんびかをお用いください）

おいのり 礼拝に招かれたことを感謝しましょう

せいしよ 創世記 3章1～13節

主なる神が造られた野の生き物のうちで、最も賢いのは蛇であった。蛇は女に言った。「園のどの木からも食べてはいけない、などと神は言われたのか。」

女は蛇に答えた。「わたしたちは園の木の果実を食べてもよいのです。でも、園の中央に生えている木の果実だけは、食べてはいけない、触れてもいけない、死んではいけないから、と神様はおっしゃいました。」

蛇は女に言った。「決して死ぬことはない。それを食べると、目が開け、神のように善悪を知るものとなることを神はご存じなのだ。」

女が見ると、その木はいかにもおいしそうで、目を引き付け、賢くなるように唆していた。女は実を取って食べ、一緒にいた男にも渡したので、彼も食べた。二人の目は開け、自分たちが裸であることを知り、二人はいちじくの葉をつづり合わせ、腰を覆うものとした。

その日、風の吹くころ、主なる神が園の中を歩く音が聞こえてきた。アダムと女が、主なる神の顔を避けて、園の木の間に隠れると、

主なる神はアダムを呼ばれた。「どこにいるのか。」

彼は答えた。「あなたの足音が園の中に聞こえたので、恐ろしくなり、隠れております。わたしは裸ですから。」

神は言われた。「お前が裸であることを誰が告げたのか。取って食べるなど命じた木から食べたのか。」

アダムは答えた。「あなたがわたしと共にいるようにして下さった女が、木から取って与えたので、食べました。」

主なる神は女に向かって言われた。「何ということをしたのか。」女は答えた。「蛇がだましたので、食べてしまいました。」

[おはなしとおいのり](#) [「つい罪を犯してしまった」](#) [杉山昌樹牧師](#)

（上のリンクをクリックし再生ボタンをクリックすると音声流れます。もし途中で止まるようでしたらファイルをダウンロードしてください）

うっかり？

皆さんお元気ですか？杉山です。ところで皆さんは家で家族みんな仲良くしていますか？幼稚園や学

校ではどうですか？みんなで仲良くしていると楽しいですね。でも、うっかり変なことや、いやなことを言うてしまうことがあります。そうすると、今まで仲良くしていたのがうまくいなくなってしまうります。でも、これじゃいやだな、と思って「ごめんね」、というもまた仲直り出来ますね。でも、いくらごめんね、と言っても元通りにならないことが一つだけあります。今日はそんな怖い、怖い「罪」の始まりが書いてある聖書を読みました。でも、「罪」とはいったい何でしょうか。一緒に考えてみます。

たのしい園

今日は読みませんでしたけれども、最初の人間であるアダムさんという人は、エデンの園というところに住んでいました。きれいな川が流れていて、花があちこちに咲いていて、おいしい木の実がたくさん取れる、素敵な場所でした。アダムさんは働かなくても好きな時に木のみをお腹いっぱい食べられます。でも、エデンの園の手入れをする仕事をしていました。神様は、アダムさんが寂しくないように、いろいろな動物を連れてきてくれました。でも、アダムさんと一緒に働いて生きていくのにちょうどいい動物はいなかったのて、神様は女の人を作ってくれました。エバさんと言います。アダムさんは、エバさんを見てすっかりうれしくなつて、「これこそ、僕にぴったりだ」と言つて大喜びしました。こうして楽しい生活が始まります。これが最初の家族です。

へびとは？

ところがある日、へびがエバさんに話しかけました。へびが人間に声をかけるなんて変ですね？でも聖書には、野のけものの中でへびが一番賢かった、と書いてありますから、今その辺にいるへびとは違つたのかもしれないかもしれません。へびは最初にうそを言つています。「神さまは園の中のどの木からも食べてはいけないんで言つたんですか？」。もちろん違つますから、エバさんは、「違つます、どの木からも食べていいんです」と言いました。でも、ちょっとだけ、ほかのことも言つてしまいました。「あ、でもあの真ん中に生えている木からはダメだけど」。「だって、あの木から食べると、死ぬかもしれないって神さまが言つたんです」。

おいしそう？

すると、へびの目がきらりと光りました。そしてエバさんに言います。「大丈夫ですよ。食べても死にません。でもね、こんなことを言つては何ですけれど、神さまはあの木の実を食べるとエバさんたちが賢くなつて神さまのようになれるのを知っているんじゃないですかねえ」。これはうその言葉です。でも、このへびの言葉を聞いたとき、エバさんの中で、何かが変わつてしまいました。ところで、皆さんは、好きなお菓子がありますか？今、一番好きなお菓子がたくさんあるところを考えてみてください。その中に、なんだか変なお菓子が一つだけおいてあつたら、食べたいと思つますか？多分そう思わないはずですよ。でも、いかにもやさしくて頭のよさそうな大人の人があつてきて、じつはね、このちょっとへんてこなお菓子を食べて、とつても頭がよくなつて、みんなからすごーい、と言つてもらえるんだよ、と言われたらどうでしょうか。

なにがおきた？

実はエバさんはへびの言葉を聞いたときに、こう思つました。「あの木の実おいしそう、あの木の実を食

べたら、きつととっても頭がよくなって、もっと毎日が楽しくなる」。そう思うともうたまらなくなって、木の実を取ってアダムさんと一緒に食べてしまいました。それでどうなったでしょうか？確かにヘビのいうように、すぐに死んでしまうことはありませんでした。でも、とても大変なことが起きました。自分が神様との約束を破ってしまったことが気になって気になって、それを隠したい、と思うようになりました。それから、アダムさんと自分は、神様から隠れているほうがいい、約束を破っていないと嘘をついていたい、と思うようになりました。

つみ

でもそれからしばらくして、神様が二人のところにやってきたとき、すぐに嘘をついていることがわかってしまいました。それで神さまは、どうしてうそをついたの？と聞きました。すると、アダムさんは、「神さま、あなたがわたしと一緒にしてくれたこのエバが、悪いんです」といって、全部エバさんのせいにしようと思いました。するとエバさんはとんでもないと思って「ヘビが悪いんです。ヘビが騙したんです」といって全部ヘビが悪いことにしようと思いました。こうして二人とも自分は悪くない、というようになりました。でも一番よくないのは、二人はもう、本当の仲良しではなくなってしまったことです。仲良くしたくてもできない、これがつみです。

イエス様がくる

でも、神様は、このつみを消してくれる人が後からやってくるよ、と約束してくれました。それが、イエス様です。イエス様は本当にやってきて、人間のつみを取り除いてくれました。だから、僕たち、私たちは、神様や家族や友達と、本当に仲良くしていくことができるようになったんです。

お祈り

父なる神さま。私たちは、いまも、うそをついたり、喧嘩をしまったりします。悪いとわかっていることをしてしまいます。それでもしかたがないと思ってしまうたりします。でも、イエス様は、私たちが本当に仲良く生きていくために十字架でつみを滅ぼしてくださいました。このイエス様が一緒にいることを、そして僕たち、わたしたちが新しく楽しく生きられることを信じさせて下さい。主イエス・キリストのみ名によってお祈りします。アーメン

* 小さなお子さまには、話の内容等をわかりやすく、年齢に合わせて噛み砕いてお話くださいますようお願い致します。

(けんきん) 会堂2階掲示板下の机に献金箱を設置しました。

おいでの際におささげください。

92、ワワワいっしょに (こどもさんびかをお用ください)